

カワイクリーンSATが 園舎保全のプロフェッショナル と呼ばれる理由

会社紹介



カワイクリーンSATについて

カワイクリーンSATは、
幼稚園・保育園専門の環境保全・改善チームです。

保全・改善品目

- 床洗浄・ワックス塗布
- トイレ洗浄・コーティング
- エアコン入れ替え工事
- 厨房（レンジフード・換気扇・床）洗浄
- エアコン分解洗浄
- 室内換気扇・ロスナイ分解洗浄
- 空気触媒コーティング
- 床補修・ウレタンメンテナンス
- ガラス洗浄
- 砂場メンテナンス・抗菌
- 外壁・床タイル高圧洗浄
- リフォーム工事全般
- 他





社是

健やかな保育環境を創出する

私たちは園舎の保全・改善を通じて、「将来を担うこどもたち」の環境・衛生面を健康にしていくことで、より良い未来を創り出していきたいと考えています。

こどもたちのお手本となり、先生に安心してお迎えいただけるよう、特別な社員・スタッフ教育を行なっています。



カワイクリーンSATの方針

お客様が、
「また頼みたい」と思うステージを。



私たちは、作業現場を『ステージ』と呼びます。
それは、お客様に見ていただくための舞台と考えているからです。

我々のステージは、どんな場面を切り取ってもお客様に気持ちが良いと感じていただき、「また頼みたい」と思っていただけのようなステージづくりを目指しています。

カワイクリーンSATのルール

幼稚園・保育園専門のチームとして、特別な25のルールを設けています。

- ・ 長髪、茶髪、ひげ、ピアス、アクセサリは不可。
- ・ タオルはポケットから出し入れしない。頭部に巻かない。
- ・ マスクは鼻まで着用する。帽子はツバを前にかぶる。
- ・ シャツの襟のチャックは、襟の高さより下に下げない。
- ・ シャツはズボンの中に入れる。
- ・ お客様とすれ違う、見かけた際は感じ良く会釈する。
- ・ 靴のかかとを踏まない。
- ・ 履物を必ず揃える。
- ・ 見た目の綺麗な状態の靴を履く。
- ・ 作業道具は常に整理整頓し、垂直・平行に揃えて置く。
- ・ ツールBOXの蓋は閉める。
- ・ 屋外はブルーシート以外の場所に道具を置かない。
- ・ 屋内は各種シート・養生シート以外の場所に道具を置かない。
- ・ 養生シートは折り込んで平行のラインを作る。
- ・ コードやホース類は必ずまとめて束ねる。
- ・ 分解したパーツ類は、垂直・平行に揃え、見た目が綺麗な状態で置く。
- ・ 分解したパーツ類は、地面に直置きしない。
- ・ ウェス（清掃用タオル）は綺麗に畳んで置く。
- ・ 園内の電気は小まめに消す。
- ・ 園敷地内では必ず誘導をつけて車の移動をする。
- ・ 車の外装は見た目を綺麗な状態にする。
- ・ 駐車の際は、車体(タイヤ・ハンドルも)を真っ直ぐにして停める。
- ・ 運転席、助手席のフロント部分にはもの（ドリンク含む）を置かない。
- ・ リーダーの指示に従い作業を進める。
- ・ お客様目線で感じの良くない事や見た目に気になる部分があった場合は速やかに修正する。

園舎専門チームとして

ステージ内で絶対にしてはいけない 3項目を徹底をしています。

園舎専門スタッフが
絶対にしてはいけない

最重要3項目

破損

作業中には、園のものを移動させる機会が多くあります。園の器物は当然ですが、こどもたちの制作物は、弁償のできない唯一無二の作品です。移動させる際は無理をせず慎重に運び、足元にも十分注意して作業を行なっています。

忘れ物

園内に持ち込む道具の中には、こどもたちにとって危険なものも含まれます。置き忘れはもちろん、落として気づかないことのないよう、持ち込んだ道具は責任を持って入園時、退園時に数の確認を行なっています。

戸締り

戸締りを忘れるという事は、言うまでもなく重大な信用問題となります。園舎を安心しておまかせいただけるよう、セキュリティ面は慎重に管理しております。開けた窓などは必ず閉めることの徹底と共に、元々開いていた場合にも、必ず責任者に報告を行ないます。

保護者の視点で考える

園舎の必須チェックポイント

“保護者の方が気にしている” 園舎の必須チェックポイント

玄関

園舎の顔である玄関を綺麗に保つことは当然ですが、
以下のような部分には特に注意が必要です。

- ☑ 玄関に置きっぱなしの書類や段ボール
- ☑ パンフレットなどの配置物のホコリや乱れ
- ☑ 靴を脱ぎ履きする部分の砂汚れ
- ☑ 日が差し込んだ際のガラスの拭きムラ
- ☑ 壁面の手垢汚れ
- ☑ 忘れ物や落とし物
- ☑ 床の傷み

これだけで園の管理状態を判断されてしまいます。

逆にこの部分を改善できるようになることで、他の細かな部分にまで目が行き届くようになるため、まずは玄関から見直しをいたしましょう。



“保護者の方が気にしている” 園舎の必須チェックポイント

トイレ

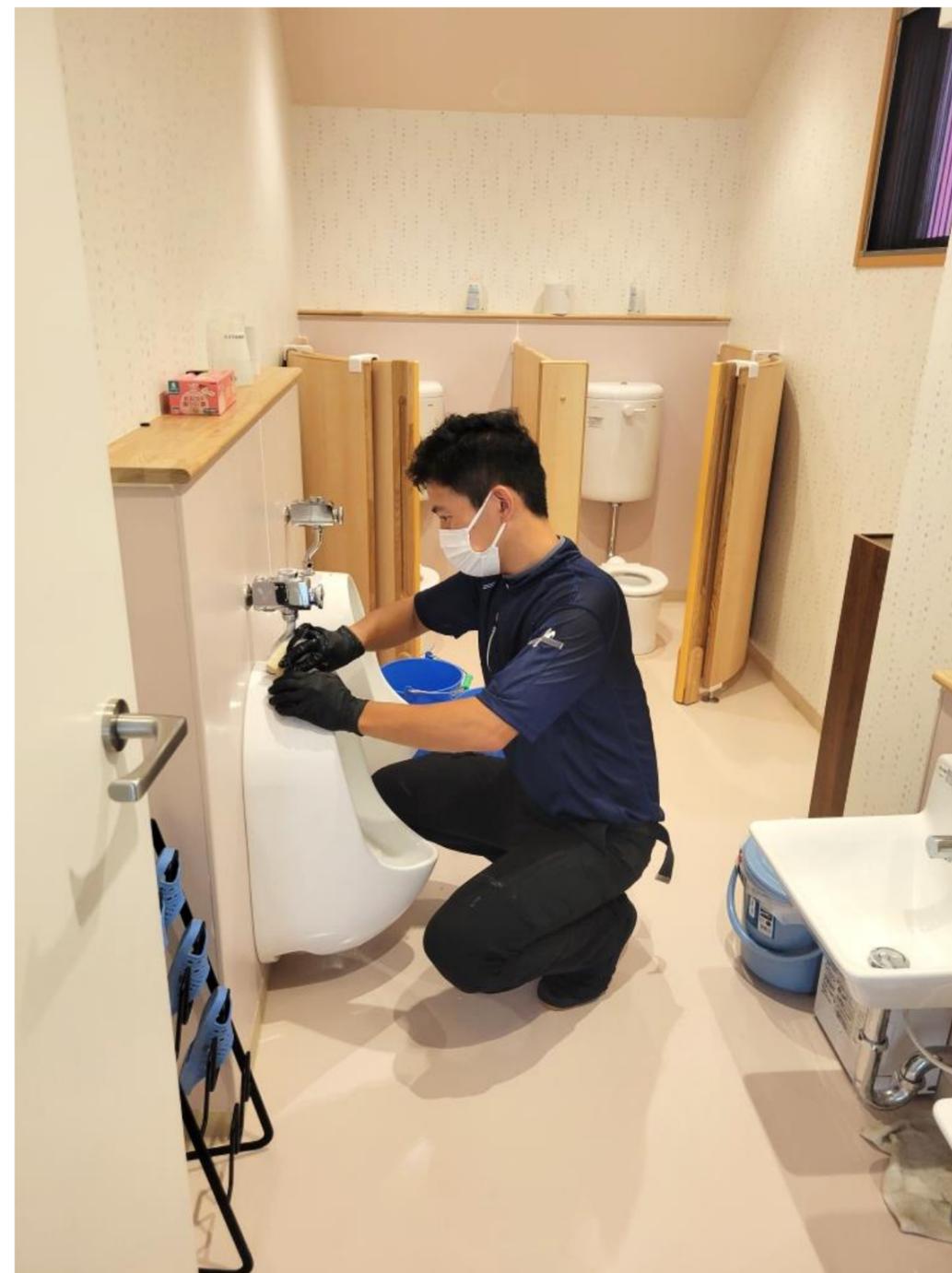
園生活において必ず必要なトイレも重要なポイントの1つです。

こどもたちがいつも使う場所だからこそ、清潔に保つことができている園は保護者の安心感を得ることができます。

直感的に気になってしまう部分は以下のような場所です。

- ☑ 水回り下の床汚れ
- ☑ 蛇口部分の黒ずみ、カルキ汚れ、石鹸跡
- ☑ 尿石、下水のにおい
- ☑ ごみ箱が溢れている
- ☑ 照明の暗さ
- ☑ タオルの汚れ

日常のお手入れでは手が入らない部分が、最も重要な場所となります。



“保護者の方が気にしている“ 園舎の必須チェックポイント

エアコン

エアコンは部屋全体に空気を送り込むため、においについては敏感に気がついてしまいます。

特に天井が低く、食事を行なう部屋は、においや汚れの原因をエアコン内のため込んでしまうために注意が必要です。

においだけでなく、カビの発生により体調不良になる可能性もあるため、メンテナンスの重要度は特に高いとされる部分です。

☑ フィルターのカビ、ホコリ汚れ

エアコンは定期的に、メンテナンスをしておくことが大変重要です。



“保護者の方が気にしている“
園舎の必須チェックポイント

砂場

砂場は想像力、創造性を広げる場所であり、こどもたちのお気に入りの場所です。だからこそ、常に清潔にしておく必要がありますが、雨や風、ネコの侵入などにより、不潔になりやすい場所でもあります。

☑ 落ち葉、ごみの混入

☑ 定期的なメンテナンスの有無

衛生面については、最も管理体制を整えておく必要があるため、定期的なメンテナンスを行なっているという「告知をすること」も保護者への安心感につながります。



依頼しなくてもできる

園舎の改善テクニック

“先生たちでできる解決策“

園舎改善のプロがやっているテクニック

玄関

◆ できる限り床にもものを置かない

ものが置かれている場所はホコリや砂がたまり、床の部分的な劣化が進みます。段ボールなどがそのままの状態になっていることで、美観だけでなく、園の管理体制のイメージが損なわれます。

◆ 靴を脱ぎ履きする場所は掃除機かけ

脱ぎ履き時は足に砂がつくため、保護者が気がつきやすいポイントとなります。モップでは砂は取れません。必ず掃除機にて吸引をしましょう。砂が研磨剤となり、徐々に床が削れていきます。特に入り口付近の床は劣化が早いので、マットを敷く、ワックスで保護するなどの対策をしましょう。

◆ ワックスの重ね塗りに注意

床は中央部分（人が歩く場所）の摩耗が早いという特徴があります。その結果、端の部分のみワックスが厚くなっていき、黒ずんで見えるようになるため、重ね塗りをする際には古いワックスを落としてからにしましょう。



“先生たちでできる解決策“

園舎改善のプロがやっているテクニック

トイレ

◆ 排水口に水は入っているか

特に大きな汚れはなくてもトイレがにおう（下水臭）場合には、床の排水口をチェックしてみましょう。夏場など、排水口内の水がなくなっていると、においが密閉されません。

◆ 小便器は特に便器下部分をチェック

トラップを開け、尿石がついている場合はわかりやすいですが、それでもにおいが気になる場合は、小便器下部分のたれ汚れを確認してみましょう。

◆ 蛇口などのカルキ汚れ

カルキで白くなっている蛇口は、ステンレスの金たわしで傷に注意しながらこすってみましょう。意外と簡単に光らせることができます。

◆ ごみ箱の状態

最近ではペーパータオルが主流になっていますが、こどもたちが使った後のごみ箱は溢れていることがあります。定期的にチェックをして、美観を整えておくことはこどもたちのためにも重要です。



“先生たちでできる解決策“

園舎改善のプロがやっているテクニック

エアコン

◆ フィルターのにおいをチェック

エアコンがにおう場合、空気を吸い込む際のフィルター部分が汚れている場合があります。水洗いだけでなく、洗剤などを使用してフィルターのにおいを取り除くだけで改善できる場合があります。

◆ 天井が低い部屋は注意

においを吸い上げてしまうため、エアコンが比較的低い位置に設置してある部屋で食事をする場合は、まめにフィルター掃除をこころがけましょう。

◆ 送風状態が最もにおう

夏前は送風で使用する機会が多いですが、運転始めに設定温度低めの冷房を使うことで、内部で結露が起きてにおいが抑えられることがあります。

しかし、根本的な改善ではないので、エアコンについては、汚れがひどくなる前に少数台ずつ、ローテーションで分解洗浄を依頼することをおすすめします。



“先生たちでできる解決策“

園舎改善のプロがやっているテクニック

砂場

◆ ネコが入らないよう対策する

砂場シートは、砂場より大きめなものを用意しましょう。ネコは足場が不安定だと砂場内に入って来ないため、ふわっとかけることがポイントです。

砂場の中央に台などを置き、シートが浮いた状態にすると良いでしょう。

◆ 定期的に砂を掘り起こす

表面は乾いていても、砂の中が湿っていることで菌が発生します。

定期的に掘り起こして、内部の砂を日光に当てて消毒することが重要です。

掘り起こしをすることで、中にある遊具が出てくる場合があります。

遊具が破損をしていることもあるので、こどもたちの安全を確保するためにもしっかりと実施しましょう。



カワイクリーンSATは、こどもたちのために、より良い環境づくりをしたいと考えています。
資料内以外の場所についても、それぞれの園舎に最適の改善方法をご一緒に考えていきましょう。

ご質問・ご相談をお寄せください。

お問い合わせフォームは[こちら](#)をクリックしてください。

03-3365-1110（土日祝日を除く 10：00～17：00）

東京都中野区中野6-3-5 カワイクリーンサット株式会社

<https://www.kawai-sat.jp/>